

閑話放談～桂川堤 4,100 歩の風景～

都草会員の皆様お元気ですか？又、如何お過ごしでしょうか？

今年の上期はコロナ禍一色で、各地で三密が問題視され、外出の自粛等が叫ばれてきました。最近では大分感染者も少なくなってきた、各地の非常事態宣言の解除が進んできていますが、コロナの第二波、第三波が非常に心配な今日この頃ですね。

小生はと云うと全くヒマで二階の自室と一階での食事、トイレとの毎日の往復が仕事で、古い諺に「小人閑居して、不善を成す」と言われますが、ヒマは良くないと自室のパソコンとにらめっこ、また外出の自粛が言われてはいますが、気分転換の為にマツイカと自分勝手に判断をして近くへの散歩に約 1 時間かけてぶらりと出かける日々の毎日です。

今回は、5月××日に自宅近くの桂川でのぶらり散歩をデジタルカメラで撮った写真と共に近くの風景をご紹介します。(小生の散歩コース5つの内の一つです)



▲上の写真は桂川右岸堤防より、対岸(西方)を見たものです。
(左手の高いビルはJR長岡京駅前のムラタの本社ビルです)

▼左の写真は桂川、宇治川、木津川の三川が合流して淀川になる地点(京阪/石清水八幡駅の少し南)から淀までの3km地点の表示石標です。

▼少し歩くと、孫たちとよく遊びに行く公園が見えてきました。右奥の立派な施設は「納所排水機場」です。(左下の道は堤防道路、公園を挟んだ真ん中の道は新千本通(鳥羽街道)です。左手には横大路にある産業廃棄物処理場のゴミ焼却炉の紅白の煙突が見えます。



▼もう少し北(上流)に向かって歩きます。(自宅より 700 歩)、右前方にこんもりした木が見えてきます。さて、これは何でしょう？答えは後で…(この木をよく覚えておいて下さいね)



▼背景左に薄く見える一段と高い山が比叡山です。薄っすら見える正面の高いビルは京セラ本社ビル(新油小路通に面しています)です。





▼ 左の写真のような桂川距離標(3.2km)が堤防道路左下に埋め込まれていました。

▼ 先程見たこんもりとした木はこの二本の木でご神木(?)の間にはお墓が祀られていました。
(鳥羽街道沿いにある墓石で自宅からここまでちょうど900歩でした)



▼ 墓石に刻まれた文字をよく見ると何と「戊辰之役東軍戦死者之墓」と刻まれ小塔婆にはナナ・ナントあの「東軍愛宕茶屋戦死者霊成」の文字があり、妙教寺さんによって供養されていました。

* 淀での「鳥羽伏見の戦い」では最も激しく新政府軍と旧幕府軍が戦ったと言われた「千両松之戦」と並び称されたのが「愛宕茶屋之戦」(富ノ森之戦とも)です。

▼背景の右側の山は比叡山で右に架かる橋は羽束師(はづかし)橋です。少し左側に薄っすらと白く見えるのが「京都タワー」です。という事は、あの辺が京都駅ですね。(別の日に望遠で撮りました)



▼背景の山は愛宕山です。山頂はこぶのように少しポッコリしていますね。



▼いやーユニーク！なお宅ですね。何と淀では二軒目です。以前は包丁研ぎとパンクの修理だけでしたが…はやりのコロナ禍とサイクリングや散歩の方用に「ちょっと一休みベンチ」と石清水八幡宮迄の距離板(6.5km)と3点増えました。本当にご苦労様でお疲れ様でした。(堤沿いより)



▼この小屋は何の建物かなあ???



▼澱(よど)川右岸水防事務組合第十五倉庫で～す



*ここは未だ桂川右岸の
はずですが…澱川？

よく使用されていると
いう形跡は見られないの
ですが…！？どうでしょう

▼桂川も上流に行くほど大きく左(西)に蛇行しています。右手奥の山並は東山でひときは高い山が比叡山です。



▼三川合流点より4km地点です。桂川右岸はサイクリングロード(嵐山～木津川)になっているので、特に土、日曜はサイクリングをする人が非常に多いです。小生もママチャリで以前は嵐山まで往復した事がありますよ。(正面の小高い山は比叡山です。)



▼やっと折り返し点の府道守口線に出ました。旧の京阪国道一号線です。「MINI STOP」の前で隣がレストラン「JOY FULL」です。この辺では唯一のコンビニとレストランです。他に無し(笑)



▲コロナ禍の影響かテイクアウトの幟が出ていました。

▼此の辺りの自販機は100円以上のものは有りません(全て100円です)



▼京都では由緒ある老舗劇団「京芸」です。今でも定期的に講演をされています。



▼これで4100歩の散歩の終了です。今日は曇り空で写真がうまく撮れず見にくくなり
申し訳有りませんでした。それにしても如何でしたか？出来れば他のコースもご紹介
する機会があればと考えていますので、よろしく… あ～あ、お腹へったなあ(終)